

今、開業するなら

新潟県

安定した需要が見込める

見附市で



見附市基本データ

(2022.4 現在)

- 人口 39,315 人
- 世帯数 15,159 世帯
- 面積 77.91 km²

(南北 14.7km、東西 11.5km)

※人口・世帯数は住民基本台帳データより

医療の状況

(2021.11 現在)

- 医科診療所数 18 医院
- 医療機関医師数 26 人

※日本医師会 地域医療情報システムより

見附市を推奨する 4つの理由



子育て世帯が増加中！

人口減少率が低い見附市

見附市は県内 20 市の中で人口減少率（2015～2020 年）が 4 番目に低く人口減少が少ない自治体です。特に、住宅取得による 0～14 歳・30 歳代の子育て世代が転入しており、今後も安定した需要が見込めます。



県内で 1 番コンパクトな市！

全市域を商圈可能

中心部から自家用車で 10 分～15 分で市全域をカバーできます。市内の公共交通網が発達しており、車の利用ができない方でも移動が容易です。市街地はコミュニティバス、郊外はデマンドタクシーなどが運行しています。



見附市立病院などと連携し、

初期投資の軽減が可能

見附市立病院と地元医師会の診療所とでは、紹介・逆紹介を行って連携を図っており、CT・MRI 検査については、見附市立病院に依頼することで、ほとんど待ち時間なく検査可能です。



新規開業に対して

最大 1,000 万円の支援

見附市内で新規に診療所を開業した場合に、「新規開業等奨励金（500 万円）」、さらに特定の診療科目の場合は「施設整備費補助金（500 万円）」を上乗せして支援します。詳細は裏面をご覧ください。



新潟のど真ん中 開業するなら新潟県見附市へ

「住む」「通う」にも便利な見附市をおすすめします

住む 市民満足度の高いまち

見附市は、市民誰もが健やかに幸せに暮らせるまち「スマートウエルネス」を中心テーマに位置付け、医療・福祉・商業などの都市機能を市街地に集積し、公共交通を充実するなど、歩いて暮らせるコンパクトな街づくりを進め、全国的にもその取り組みが評価されています。

2年に1回実施している、市民アンケート（R2実施）では、9割以上の方が「住み良い」と回答しており、市民満足度も非常に高いまちです。

通う 新潟県のど真ん中！通いやすい立地環境

県の中央部に位置した見附市は、周辺主要都市から通いやすい環境です。また、東京へも鉄道で長岡駅を経由して約1時間半でアクセスが可能です。



開業するなら「見附市」を推奨する4つの理由

見附市は、新潟県内でも人口減少が少ない自治体です！

- 2015年から2020年の5年間の人口減少率は県内20市中4番目に少ない自治体です。
- 近年の社会動態（転入－転出）の人口増減率は県内でも上位で、2018年と2020年は県内20市中で1番良い数字となっています。

人口減少が少ない理由

住宅理由による転入が多いこと。特に0～14歳と30歳代の転入が多く、子育て世帯が住宅取得時に転入しているものと考えられます。

今後も安定した需要が見込めます

見附市は県内で面積が1番小さな市

- コンパクトな街で、中心部から家用車で10～15分で市全域をカバーできます。
- 市内の公共交通網が充実しており、車の利用ができない方も移動が容易です。市街地はコミュニティバス（100円、20～30分間隔）、郊外はデマンドタクシーなどが運行しています。

全市域を商圏とすることが可能です



見附市立病院等との連携が可能！

- 見附市立病院と地元医師会の診療所とでは、紹介・逆紹介を行って連携を図っており、CT・MRI検査については、見附市立病院に依頼することで、ほとんど待ち時間なく検査可能です。

検査機器などの初期投資を軽減できます

- 中越地域の二次医療圏では、長岡赤十字病院、長岡中央総合病院及び立川総合病院による充実した二次救急輪番制が維持されており、重症患者の受け入れ体制が整っています。



新規開業に対して最大1,000万円の支援

見附市では、「新規開業等奨励金（500万円）」、さらに特定の診療科目の場合は「施設整備費補助金（500万円）」を上乗せして支援します。

項目	金額・補助率	条件
① 新規開業奨励金	500万円	・医科診療所を開業（事業承継も含む） ・5年間事業を継続 ・見附市南蒲原郡医師会に加入 ・市立学校の学校医、市が実施する健康診査等、市が医師会に委託している休日在宅当番医制度への協力
② 施設整備費補助金	上限 500万円 (設備投資の1/2)	①に加えて以下の条件を満たすこと ・開業する診療科目が内科・小児科・整形外科・精神科・産婦人科（出産を取り扱う場合のみ）に該当

※「事業承継」の場合は②の上限額が250万円となります。



見附市で診療所の開業を

見附市長 稲田 亮

令和3年12月に市長に就任して以来、私は「暮らし満足No.1のまち」を目指して各種施策に取り組んでおり、その柱の1つに「市民の健康づくりを支える」を掲げています。

ここ数年市内の診療所の数が減少している中で、地域医療の維持・充実には特に重要な課題と考えており、私自身も前面に立って、診療所の誘致に力を入れて取り組んでいます。見附市は、人口減少が県内の他自治体と比較して少なく、まちもコンパクトで、診療所を運営していくにあたって有利な点が多くあります。新規開業に対する補助制度を拡充するなど、診療所開設に向けたサポートも充実しております。地域医療へ貢献したいと考える医師の皆様、ぜひ見附市での開業をお待ち申し上げます。



共に地域医療の実践を

一般社団法人 見附市南蒲原郡医師会 会長 山谷 春喜

私は見附市で生まれ育ちました。平成4年に見附市立病院開院時に見附に戻り6年間勤務した後、平成10年に開業しました。

見附市は長岡市と三条市の間にある人口約39000人の小さな市です。新潟県の中心に位置し交通の便が良く、地域の皆様は人情に厚く非常に住みやすい所と実感しています。見附市は健やかに幸せで、日本一住みよい街造りを進めています。

元々新潟県は医師数が少なく、中でも見附市は医師数が最少です。診療所の新規開業をお考えでしたら、最大1000万円の支援があり、安定した需要が見込める見附市での開業をお勧めします。是非一緒に地域医療を実践していきましょう。

問合せ先：見附市健康福祉課

新潟県見附市学校町2丁目13番30号 電話：0258-61-1370

E-mail：kenkou@city.mitsuke.niigata.jp



市HPからも詳しい情報をご覧ください。